

特定非営利活動法人 エキスパート児童福祉支援協会

未来のつばさ

INDEX

P.2 理事長ごあいさつ
子ども達の希望をかなえるお手伝いを
2010年度 事業活動のご報告

P.3 2010年度 育英奨学・自立支援
応募者の選考を終えて
諮問委員 上方 仁 (社会福祉法人 窓愛園 理事長)

P.4 子ども達からの手紙
本当にありがとうございます!

P.6 選考委員からのメッセージ
支援者の思いを大切に私たちが選考しました

P.7 紹介ひろば
児童養護施設 菊水学園

P.8 入会・寄付のご案内
2011年度 育英奨学・自立支援のお知らせ

Vol.12
2011.6

子ども達の希望をかなえる お手伝いを

特定非営利活動法人
エキスパート児童福祉支援協会
理事長 上田 伸夫



要であり、この活動を広くご紹介させていただきたいと思えます。

3月には東日本大震災が発生し、福島原発事故などもあり、日本全体が不安を抱えています。このような環境の中、難しい状況を背負った子ども達に、少しでも希望をかなえるお手伝いができればと思っております。

微力ではありますが、当協会の事業の発展、継続に貢献してゆきたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

これまで、理事として応募者の皆様の書類選考などに携わってまいりました。この度理事長に就任することになり、責任の重さを痛感しております。

当協会の事業は、子どもの夢をかなえるためのスタートを支援するものであり、趣旨に賛同いただいた皆様の協力の下に運営されています。

当協会は子どもへの金銭的支援を行っておりますが、施設の職員や里親、そして社会が見守っていること伝え、実践することで精神的な支援にも役立ちたいと考えています。それ由に、継続した活動が必

2010年度 育英奨学・自立支援 応募者の選考を終えて



諮問委員
上方 仁
(社会福祉法人 窓愛園 理事長)



2010年度の応募要項や選考方法は2010年6月24日の諮問委員会で審議され、決定された。この日の夜、サッカーワールドカップの一次予選で、遠藤、本田の芸術的FKのあと追い込まれ、危うしというところで岡崎が華麗なゴールを蹴り込み、日本が決勝進出を決めたことと、お茶も珈琲も無しに何時間も熱心に議論したのでなお、記憶に新しい。

子ども手当、高校学費無償化や生活保護などの社会保障のはざ間にあつて、家族の支援を得られない青年は苦悩を強いられている。

家庭に戻れない子どもが、施設を出て直面するのが「住む家がない」ということだ。「志望した学校には入れた」「希望の職場に内定した」といっても住居が必須である。たとえ貧しい狭い家庭でも、家に戻ればほとんどお金はかからないが、一方我が子ども達は、アパートを借りるにしても、敷金・礼金・家賃・保証人が必要だし、電気・ガス・水道・NHKなどの費用もばかにならない。むろん食費・ケータイはもとより、社会人としての身だしなみ経費も自分で調達しなければならない。

さらに学生であれば、入学金・授業料・教科書代・交通費…と気が遠くなるほどのお金を自分一人で工面していかなければならないのだ。当然アルバイトに精を出す、育英奨学金を借りる。特待生を狙う。でもそれではとてもやっていけないのが現実だ。特に初年度は、多くの資金が必要な上、バイトが定着するまで時間が要る。それでやっと卒業できたとしても、何百万円という膨大な借金が残る。これまでも児童養護施設や里親家庭で暮らす子どもへの育英奨学資金は、いくつかあったが、卒園生全体の90%以上を占める、就職者の自立を支援する機関はほとんど無く、下宿代・初期の生活費、交通費にも困るというの

も珍しくなかった。

このエキスパート児童福祉支援協会の制度では、当初から、就職者の自活資金支援にウエイトをおくという英断に加え、進学者を加えた全体の対象者が100名を超えるというスケールの大きさも特筆される。改めて2010年度育英奨学・自立支援資金制度の応募・選考決定の経緯を振り返ってみると、応募者は409名と前年より54名増加しているが、増加分の80パーセントが就職者であるのも制度の特色を表している。

**貴重なご支援者のご寄付をいかに有効に
使って貰い、活かせるか。**

諮問委員会の大事なミッションもここにある。たぶん応募者のほとんどが、厳しい状況にあり、どなたもこの制度による支援を渴望していることは想像に難くない。しかし資金枠は限られており、その中で「充実した高校生活を過ごし、自分の将来に向けてしっかりした展望や夢を持ち、これまで多くの人に支えられてきたことへの感謝の気持ちを忘れず、自分も何か人の支えになれる」そういう方を書面だけで選ぶのは、はなはだ難しいとは思いますが、その選考方法についても議論し、諮問委員会として答申した次第である。

409名の真剣な応募者から、当初案140名を選ぶのは至難の業だったようで、今年度は、アイリオ生命の社員13名も加わっていただき、約1カ月かけてしっかり選考された。今回は応募者レベルがかなり高かったようで、予定の枠に収まらず、結局枠を増やしていただき、147名の方々に活用していただくこととなったが、2010年度分は進学者・就職者ともかなり高いハードルとなったことは否めない。裏を返せば厳しくなった分だけ、ご寄付者の期待に近付ける選考ができたものと確信している。

2010年度 事業活動のご報告

事業報告書

2010年度(2010年4月1日から2011年3月31日まで)における
エキスパート児童福祉支援協会の活動についてご報告いたします。

●子どもへの育英奨学資金の提供事業

児童養護施設、母子生活支援施設、里親家庭で暮らす子どもたちの大学・短大・専門学校への進学時の入学金・学費補助として支援。

進学予定者の応募者数 187名 → 支援決定者数 53名

●子どもへの自立支援資金の提供事業

児童養護施設、母子生活支援施設、里親家庭で暮らす子どもたちの就労自立のための補助としての支援。

就職予定者の応募者数 222名 → 支援決定者数 94名

●その他、当法人の目的を達成する為に必要な事業

広報活動(会報誌制作・配布、ホームページの修正補充)、応募要項の制作・配布などの実施

■2010年度 収支報告

(単位:円)

収入		支出	
会費	295,000	子どもへの育英奨学資金	7,950,000
寄付金	33,886,710	子どもへの自立支援資金	14,100,000
受取配当金	252,000	その他事業費(広報活動等)	1,782,355
		管理費	9,987,566
合計	34,433,710	合計	33,819,921

■これまでに支援した人数

(2005年から2010年度まで)

年度	育英奨学	自立支援	合計
2005年度	98人	76人	174人
2006年度	86人	54人	140人
2007年度	92人	109人	201人
2008年度	46人	88人	134人
2009年度	52人	101人	153人
2010年度	53人	94人	147人
合計	427人	522人	949人

子ども達からの手紙

進学や就職をする、たくさん子ども達を支援することができました。子ども達からも、感謝の手紙が寄せられています。



事務局からの事業報告【応募者：409名／支援者：147名】

児童養護施設、母子生活支援施設などの児童福祉施設、里親家庭で生活している恵まれない子ども達への育英奨学資金・自立支援資金の提供事業を実施しました。本年も昨年同様、支援予定者数をかなり上回る子ども達からの応募申請が寄せられました。それに対応すべく選考委員会で、一次選考は申請者一人につき3名の選考委員の審査、また二次選考では最終確認と慎重且つ公平に選考しました。

本当にありがとうございます！

4月には東京へ行くことになっていますが、その準備やお給料をもらうまでの生活に、このお金をあてさせていただきます。

就職後は、**早く仕事の内容を理解し自分から積極的に働き、先輩方に顔を覚えていただけるようがんばろう**と思います。

これからも僕たちの後輩のために支援をお願いします。
広島県 広島新生学園

これから自分の夢を叶える為にしっかりと日々就職先でも努力していきたいと考えております。皆様からの支援、応援してくださっている気持ちを無駄にすることのないよう、**夢を叶え、立派な社会人になり、社会に貢献する一人として胸を張れるように努め、日々精進していきたいです。**

福岡県 ひばりが丘学園

私たちは先日の東日本大震災からの復興に向けて日々頑張っています。

この度は私のために15万円という大金を支援していただきありがとうございます。将来、私も今の自分のような立場にいる人たちを助けられるようになりたいです。

震災のため確認などが遅れて申し訳ございませんでした。皆様のご期待にそえるよう日々努力してまいります。

宮城県 ラ・サール・ホーム

私がこうして大学への進学を果たすことができるのも、皆様の温かい応援のおかげです。感謝の気持ちでいっぱいです。

4月からの大学生活を、この感謝の気持ちを忘れずに有意義に過ごしていきたいと思っています。

兵庫県 神戸少年の町

私は4月から大学へ通い、**幼児教育の指導者になるための勉学に励んでいきます。**

これまで多くの方々を支えられてきたことに感謝し、少しでも恩返ししていけるよう、立派な社会人になれるようがんばっていきます。

東京都 至誠学園

たくさんの方々に応援してくれていることを忘れてないで、恩返す気持ちで2年間、専門的なことを学ぶのはもちろんのこと、ボランティア活動、アルバイトなど積極的に取り組み、より人間性を高め**必ず保育士という夢を実現したい**と思います。

熊本県 熊本天使園

大学進学を前に一人暮らしを始めています。**不安もありますが皆様のご支援のもと一生懸命がんばりたいと思っています。**

もうすぐ大学生活が始まります。とても待ち遠しかったですが、少しずつ実感がわいてきました。この大切な4年間を地道にこつこつと自分なりに進んでいきたいと考えています。

神奈川県 心泉学園

スーツを買ったり、荷物をまとめたりと、毎日充実した日々を送っています。

今までのにぎやかで笑いの絶えなかった生活も、残りわずかかと考えると淋しくなりますが期待もあります。

どんな生活を送るのか、どんな人たちがいるのかなど、これからも人に助けられながら生活することになるとは思いますが、自分のできることはきちんとやっていきます。これまでは周りの方々を支えられてきましたが、**今度は自分が恩返ししていけたらと思っています。**

熊本県 熊本天使園

最近、一人暮らしをするために引越しの準備をしています。

4月からは就職をします。慣れるまでは辛いと思いますが、がんばって働いて周りの方々に迷惑や心配をかけないよう、**皆様方の温かい心を忘れないよう社会に少しでも貢献できるような人になりたいです。**

熊本県 熊本天使園

「社会人」になることは、一人で自立することはもちろんですが、**夢に向かって自分らしさを持ち、どんなことにもどんどん挑戦してゆけるような人になることも大切なことだ**と思いました。これから社会の一員となる私には「楽しいこと」「嬉しいこと」「辛いこと」「悲しいこと」など、たくさんの困難もあると思いますが、困難を乗り越えてこそ強くなれるのだと私は信じています。困難にも負けないように、努力してがんばっていききたいと思います。

大阪府 あおぞら

2010年度 支援受給者数

進学 53人 就職 94人

都道府県	進学	就職	合計
北海道	2	6	8
青森県	0	1	1
岩手県	0	2	2
宮城県	1	1	2
秋田県	1	1	2
茨城県	0	2	2
栃木県	1	0	1
群馬県	1	6	7
埼玉県	3	2	5
千葉県	2	3	5
東京都	9	8	17
神奈川県	4	3	7
富山県	0	2	2
福井県	1	0	1
山梨県	1	0	1
長野県	2	1	3
岐阜県	2	4	6
静岡県	3	2	5
愛知県	0	1	1
三重県	1	2	3
京都府	1	2	3
大阪府	2	7	9
兵庫県	3	2	5
奈良県	0	4	4
岡山県	0	1	1
広島県	1	2	3
山口県	0	2	2
徳島県	0	2	2
愛媛県	0	1	1
福岡県	3	3	6
佐賀県	2	2	4
長崎県	0	2	2
熊本県	4	9	13
大分県	1	3	4
鹿児島県	2	1	3
沖縄県	0	4	4



支援者の思いを大切に 私たちが選考しました



書類選考する機会を得て思うこと

支援対象の子どもを書類選考するという機会を得たことで、普段狭まりがちな視野を広げてくださいました。たくさんの可能性を持ってこの世に生を受けたはずの子どもが、早くから運命の荒波にもまれ困難な状況を背負うことになっている現実があることを思い出させられました。どの作文も、支援者、特に温かく日々の生活を見守り育ててくれた施設の職員への感謝の気持ち、そして皆、子どもなりに折り合いをつけ社会に巣立つ意欲、未来への夢と希望が溢れており、優劣などつけようもありませんでした。みんなにエールを送りたい気持ちで満たされたと同時に、我々が支援できる範囲は余りにも限られており、この子ども達に国からの十分な支援制度が無いことに、国政の怠慢に対する不満を越え、憤りすら覚えます。

少子高齢化により社会保障制度の抜本改革は必至であり、既に長く議論がされています。しかし、単なる表面的な数字合わせではなく、我が国の未来を担う子ども達のことを真剣に思い、子ども達の可能性を存分に引出し育てることはもちろん、それ自体が国の礎となることの明確な認識をもち、長期的な視点で制度化しようとしているのか大きな疑問を感じます。子どもは票田とはならないからでしょうか…。最近ではあまり聞かれなくなりましたが、我が国には「子は国の宝」という言葉があったはず。特に難しい状況にある子どもへの支援は優先されるべきであり、これまで以上に児童養護施設の充実を図るだけでなく、施設を出た子ども達が次のステージに立つための支援制度の新設は必須と確信しています。制度の狭間に立たされ、どこに声を挙げてよいかわからない子が大量にいることを思えば、この機会を頂戴した我々が支援できる力を強化するのみならず、それぞれの立場で問題意識を発信し続けることが、支援の輪を広げることにつながるのだと改めて思い知らされた次第です。

アイリオ生命保険株式会社
取締役 市村 元一



児童の純心さ、素直な心、 並々ならぬ努力に感動

支援者の皆様の代理として選考するという重任は、申請書類の中で児童に向き合う時あらためて心が引き締められます。家庭環境に恵まれない子ども、虐待で傷ついた子ども達が施設の暖かい先生や里親の愛と忍耐で育まれ、立派に成長して、清く高い志を持って応募してくれました。その一人ひとりに真心を込め、敬愛の心で選考させていただくのですが、児童の純心さ素直な心並々ならぬ努力に感動、かえって癒されるのがたびたびでした。施設の子供達は18歳になると自立しなければなりません、いつも心に残る思いは支援できなかった子どものこと、あの子どももこの子どもも支援してあげたい…。そして夢と希望に胸をふくらませ、新しい世界へと船出した子ども達が挫折することなく無事に航海を続けてくれるようにとひたすら願っています。

エキスパート児童福祉支援協会
理事 米林 慶子

「顔が見える支援」を体感できる貴重な経験

支援活動を通して学ぶことは多くありますが、「顔が見える支援とは、支える側が相手から気づかされ、元気をもらうことである」ということを体感する貴重な経験をさせていただきました。子ども達は、自分が置かれた境遇を恨むのではなく、ここまで育ててもらったことに対する感謝を持ち、純粋で、今の気持ちを素直に表現する作文を提出してくれていて、彼らを支援したいという気持ちが湧く機会となりました。子どもは、社会が見守り、育てるからこそ、未来を担う財産となります。その財産を支援するはずの社会福祉制度についても、18歳で施設を出て、それ以降は支援制度がほとんどなかったことなど、知ること初めて憤慨することになりました。多くの人に現状を知っていただくことが、社会の問題として認知され、子ども達を見守る一助になると感じた次第です。多くの応募者があり、支援対象とならなかった子どもの残念さを思うと、選考するということの難しさを感じましたが、申請書類の用意や、支援概要の説明など、時間を割いてくれた職員のおかげで社会人としてのトレーニングのひとつに参加できた、という気持ちに切り替えてほしいと願うばかりです。

アイリオ生命保険株式会社
取締役営業本部長 岩ヶ谷 晃久

紹介ひろば

エキスパート児童福祉支援協会は、毎年多くの子ども達を支援しています。その施設の先生方に施設内の様子や子ども達の様子をうかがいました。

児童養護施設 菊水学園

施設データ

- 施設名称 菊水学園
- 施設長 松本 孝一郎
- 所在地 熊本県熊本市
- 経営母体 社会福祉法人 菊水学園
- 種別 児童養護施設



「好きなことより、できることを少しずつ増やしていく養育を」

菊水学園は、太平洋戦争末期の1944年、初代理事長が、戦争孤児を自宅に引き取って一緒に暮らしたことから始まりました。現在、2歳～18歳まで67名の子ども達が生活をともにしています。「最近、乳児院からずっといる子は少なくなり、対照的に、児童相談所などを經由して入所してくる小中学生が増えていきます。やはり、虐待の増加などが関係しているのでしょうか」と語るのは、創始者のご子息で、教師の経験を持つ松本孝一郎理事長。生まれた時から園の子ども達と育ってきたという理事長が、入所児童に最初必ず行うのは「徹底して子どもの言い分を聞くこと」。理不尽な苦難にただ耐え抜いて、裏切られてきた子ども達にとって、自分の言い分が間違っていると言われることは、自分自身を否定されることと同じ。良くも悪くもいったんは受け入れた上で、できるこ

とを少しずつ増やしていく、スモールステップの繰り返し大切だといいます。「朝起きられる、学校へ毎日通える。その一つひとつをほめて喜び合えば、子ども達はどうすればよいかを自分で考えるようになる。がんばった結果は、必ず報われるのだと実感するようになるのです」。本年度は5名が園を巣立ち、看護師となるため学校へ、また、大手企業への就職など、それぞれ将来に向けて一歩を踏み出し、そのうち3名に、エキスパート児童福祉支援協会の育英資金が活用されました。「これまでも、エキスパートグループから小規模グループケアのための施設設置や輸送用のワゴン車の購入など、さまざまなご協力をいただきましたが、自立支援は子ども達のスタートに何よりありがたいものです。社会に受け入れられていると知ることが、彼らの大きな励みとなるのです」。

先生からのメッセージ

「マイナスを力にする日が来ることを信じて」



理事長
松本 孝一郎先生

教師時代から痛感していましたが、現代の子ども達の変化は親の変化であり、根本的には、間違った教育の結果でもあります。本来、社会で生きていく上で必要な競争心や自己をアピールする力などを育てなくなった。国が子ども達の家庭復帰を推進する中、当園ではスポーツ活動や集団生活での役割分担、小規模グループケアなどによって、自立へ向けて真剣に取り組んできましたが、きつこともあります。中学進学と同時に家庭復帰した少年が、6年後の18歳の時、門の外に立っていたことがありました。母親との葛藤から精神科に通ったこともあり、今はようやく落ち着いて、ボクシングジムに通い始めたとのこと。その彼が一言「ずっと学園にいたかった」と。大人の皆さんには、行動や言動だけで判断せず、ダメなものをなぜダメなのか教え、真摯な眼差しで見守ってほしい。辛い日々がなければ今の自分はなかったと、彼らがいつか思えるようになることを心から願っています。



特定非営利活動法人 エキスパート児童福祉支援協会 入会・寄付のご案内

エキスパート児童福祉支援協会は、会員の皆様の会費と寄付金を財源として、運営されています。当協会の趣旨と事業内容をご理解のうえ、一人でも多くの方にご入会いただけますようお願いいたします。

●入会金及び年会費と寄付金額

※年会費は、毎年4月1日より翌年3月31日までの1か年の会費です。

		入会金	年会費	
			期中入会の初年度年会費 (10月1日から翌年3月31日まで)	
正会員	法人・団体	20,000円	20,000円	10,000円
	個人	10,000円	10,000円	5,000円
賛助会員	法人・団体	なし	5,000円	2,500円
	個人		3,000円	1,500円
寄付		1,000円から承ります		

注) ①賛助会員は議決権を持ちません。

②当協会は、認定NPO法人ではありませんので、寄付金控除の税の優遇処置適用に該当しません。ご了承のうえ、ご賛同いただきますようお願い申し上げます。

●入会手続きと寄付のお申込み

入会・ご寄付に関するお問い合わせは、直接協会までご連絡ください。申込書をお送りいたしますので、ご記入後郵送、またはFAXで送っていただき、入会金・年会費・寄付金は下記の口座へお振込ください。振込手数料、郵送料金はご負担いただきますよう、お願い申し上げます。

●お振込先

三菱東京UFJ銀行 堀留支店 普通4518354
とくていひえいりかつどうほうしん
「特定非営利活動法人 エキスパート児童福祉支援協会」

ゆうちょ銀行 〇一九店 当座0362052
ぜろいちきゅう
「NPO法人 エキスパート児童福祉支援協会」
ほうしん

2011年度 育英奨学・自立支援のお知らせ

2011年度 育英奨学・自立支援金の応募要項は、10月以降に確定します

役員

- 理事長 上田 伸夫
- 専務理事 三浦 直子
- 理事 酒井 正子、米林 慶子、石山 雅男
- 監事 伊藤 哲夫



特定非営利活動法人
エキスパート児童福祉支援協会

〒103-0006 東京都中央区日本橋富沢町10-10 日本橋インテリジェントフラッツ402
電話：03-5642-6330 FAX：03-3249-7730 E-mail：info@ex-child.or.jp
<http://www.ex-child.or.jp>